

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【実施状況及び効果検証】

令和3年9月30日現在

■感染拡大防止対策事業

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
1	病院事業会計繰出（宿泊施設提供事業）	新型コロナウイルス感染症入院患者の治療に従事する医療従事者のための宿泊施設を借上します。	市（市立中央病院）が実施	・利用者数 : 13人 ・延べ宿泊数 : 306泊	1,377	1,350	R2.4	R3.3	感染症患者の治療等を行う医療従事者が自身の健康管理等に必要となる宿泊場所を提供することで、本人及びその家族の不安の軽減が図られました。	4
2	感染拡大防止事業	感染拡大防止のため、防護服及びマスク、窓口用パーテーションを購入します。	市が実施	・防護服：500セット（1,925千円） →市立中央病院へ配布 ・マスク：20,000枚（1,364千円） →備蓄物資 ※備蓄物資から小中学校へ配布したため ・パーテーション：112基（970千円） →庁舎窓口へ設置	4,259	4,219	R2.4	R2.9	防護服の購入により、感染症指定医療機関である中央病院へ防護服の不足を支援できました。 マスク購入により、感染防止のための備蓄物資の整備が図られました。 窓口へのパーテーション設置により、職員、市民の感染症予防対策が図られました。	5
3	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナウイルス感染予防対策として、公共施設に非接触体温測定機等を設置します。	市が実施	・カメラ型：5台 （道の駅ほか3施設） ・タブレット型：33台 （市庁舎、コミュニティセンターほか13施設） ・ハンディ型：3台 （現代美術館ほか2施設） ・体温計型：69台 （馬事公苑、市民図書館ほか19施設、各課事業用）	10,351	10,300	R2.6	R3.2	非接触体温測定機の導入により、市民が安心して公共施設を利用できる環境整備が図られました。	10
4	感染拡大防止対策支援事業	感染者の早期発見、市内の安全・安心確保のため、事業者の非接触体温測定機導入、物品購入及び環境整備に要する経費の一部を支援します。	市内事業者	【非接触体温測定機】 対象経費の2/3（上限50万円、2台まで） ・補助件数：97件 【物品購入等】 対象経費の全額（上限5万円） ・補助件数：915件	72,239	52,238	R2.6	R3.2	非接触体温測定機の導入や衛生物品の購入を補助したことで、市内事業者への感染予防の取組の推奨並びに市民への感染予防対策が図られました。	11
5	病院事業会計繰出（感染症対策事業）	病院患者が安心して受診できる環境を整備するため、発熱外来を設置し、地域外来・検査センター及び発熱外来の運営の強化を強化します。	市（市立中央病院）が実施	・地域外来・検査センター運営経費：1,418千円 ・発熱外来プレハブ設置経費：2,250千円	3,668	3,590	R2.9	R3.3	発熱外来の設置及び医療提供・検査体制の確保が図られました。	12
6	病院事業会計繰出（感染症対策事業）	待合室の混雑解消や外来患者の院内感染を防止し、安心して受診できる環境を整備するため、携帯電話を活用した患者案内システムを導入します。	市（市立中央病院）が実施	・患者案内システム導入：1,353千円	1,353	1,300	R2.9	R3.3	患者案内システムの導入により、密集や混雑を解消し、安心して受診できる環境の整備が図られました。	13
7	避難所衛生環境対策事業	指定避難所における感染拡大防止のための防護ガウン等必要な備蓄物資等を購入するとともに、換気対策のための網戸を設置します。	市が実施	・防護服セット : 2,000組 ・マスク : 20,000枚 ・災害用備蓄トイレ : 4,000回分 ・段ボールベッド : 330床 ・室内簡易テント : 220張 ・扇風機 : 222台 ・防雨型コードリール : 222個 ・発電機 : 2台 ・網戸設置工事 : 22校	46,616	46,600	R2.9	R3.3	感染防止のための備蓄物資の確保が図られたほか、網戸設置により避難所の衛生環境の向上が図られました。	14
8	十和田地域広域事務組合負担金（自動胸骨圧迫装置導入事業）	救急搬送中の心肺停止傷病者への接触による感染リスクを減少しつつ、安定した処置を行うため、救急車4台へ自動胸骨圧迫装置を導入します。	市（十和田地域広域事務組合）が実施	・自動胸骨圧迫装置導入：10,384千円 十和田市負担分 10,384千円×85%＝8,826千円	8,826	8,800	R2.12	R3.1	自動胸骨圧迫装置の導入により、救急隊員の感染リスクを低減し、安定的に処置できる体制が整備されました。	15
9	学校トイレ洋式化事業	感染防止対策として、学校の衛生環境の改善を図るため、小中学校の和式トイレを洋式トイレに改修します。	市が実施（市内小中学校）	・小学校（10校）：240基 ・中学校（7校）：109基	133,381	132,000	R2.11	R3.3	トイレの洋式化により、衛生環境が改善され、感染リスクの低減が図られました。	16
10	冬季スクールバス感染症対策事業	登下校時の通学バス車内での密集を避けるため、冬期間遠距離通学バスを1系統増便して運行します。	市が実施	甲東中学校の冬期間遠距離通学バスを1系統増便	2,336	2,300	R2.12	R3.3	通学バスの増便により、バス車内でのソーシャルディスタンスが確保され、感染症予防が図られました。	17
11	図書館書籍除菌機導入事業	図書館利用に係る衛生環境の向上を図るため、書籍除菌機を導入します。	市が実施	市民図書館へ1台設置	838	830	R2.9	R3.3	書籍除菌機の設置により、利用者が安心して利用できる環境整備が図られました。	18
12	十和田地域広域事務組合負担金（救急業務手当事業）	新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルス感染症患者等の対応に従事した救急隊員等への救急業務手当を措置します。	市（十和田地域広域事務組合）が実施	・従事者 十和田 : 117人 十和田湖 : 13人 湖畔出張所 : 5人 六戸 : 34人 ・支給額合計：647千円 十和田市負担分 647千円×85%＝550千円	550	320	R2.4	R3.3	感染リスクが増える救急隊員等への救急業務手当の措置支援が図られました。	29

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
13	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症対策として、児童生徒が安心して学習できる環境を整備するため、マスクや消毒液等保健衛生用品を購入します。	市が実施（市内小中学校）	・小学校：952千円 ・中学校：439千円 ※国庫補助金：695千円（補助率1/2）	1,391	696	R2.6	R3.2	マスクや消毒液、衛生消耗品等を購入し、感染症対策を実施することで、児童生徒が安心して学ぶことができる環境整備が図られました。	32
14	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にし、十分な教育活動を継続するため、自動水栓、自動手指消毒器、非接触体温計の配置及びマスク、消毒液等保健衛生用品を購入します。	市が実施（市内小中学校）	【自動水栓】 ・小学校（16校）：280台 ・中学校（9校）：120台 【自動手指消毒器】 ・小学校（16校）：37台 ・中学校（9校）：19台 【非接触体温計】 ・小学校（16校）：16台 ・中学校（7校）：7台 【消毒液等消耗品】 ・小学校：2,903千円 ・中学校：1,382千円 ※国庫補助金：13,133千円（補助率1/2）	26,266	13,133	R2.9	R3.3	体温計や衛生消耗品の他、自動水栓や自動手指消毒器の設置により、コロナ禍における学校内の感染予防対策が図られました。	33

■経済支援事業

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
1	経済支援対策給付金事業	市内事業者の事業継続のため、飲食事業者や小売・卸売・製造業等へ給付金を支給します。	月売上高が前年同月と比較し、20%～30%以上減少した市内飲食事業者、小売・卸売・製造業、観光、学習支援、洗濯、理・美容など ・飲食事業者：1店舗20万円以内 ・その他：1事業者20万円～100万円	【飲食業】 ・給付件数：367件 ・給付金額：73,400千円 【第2次飲食業】 ・給付件数：307件 ・給付金額：58,850千円 【小売・卸売・製造業ほか】 ・給付件数：632件 ・給付金額：127,200千円	260,104	253,542	R2.5	R3.6	コロナ禍において売上が減少した市内事業者を支援することで、各事業者の事業の継続が図られました。	2
2	温泉事業特別会計繰出（温泉使用料減免）	焼山地区の観光事業者を支援するため、温泉使用料を減免します。	焼山地区の観光事業者	令和2年4月～令和3年3月分 ・減免件数：7件	12,510	12,500	R2.4	R3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、著しく減収となった観光事業者に対し、温泉使用料を減免したことで、経営の維持が図られました。	6
3	水道事業会計繰出（水道料金減免）	観光地である十和田湖畔・焼山地区の観光事業者を支援するため、水道料金を減免します。	十和田湖畔、焼山地区の観光事業者	令和2年4月使用分～令和3年3月使用分 ・湖畔地区：29件 ・焼山地区：17件	10,797	9,900	R2.4	R3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、著しく減収となった観光事業者に対し、水道料金を減免したことで、経営の維持が図られました。	7
4	下水道事業会計繰出（下水道使用料減免）	観光地である十和田湖畔・焼山地区の観光事業者を支援するため、下水道使用料を減免します。	十和田湖畔、焼山地区の観光事業者	令和2年4月使用分～令和3年3月使用分 ・湖畔地区：27件 ・焼山地区：12件	16,239	15,000	R2.4	R3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、著しく減収となった観光事業者に対し、下水道使用料を減免したことで、経営の維持が図られました。	8
5	十和田地域広域事務組合負担金（給食事業会計）	子育て世帯を支援するため、小中学校の4・5月分の給食費を減免します。	市内小中学校	・4月分：29,549食分（7,968千円） ・5月分：60,365食分（16,250千円）	24,218	24,200	R2.4	R3.3	4、5月分の給食費を減免したことで、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られました。	9
6	プレミアム付商品券発行事業	市内経済の活性化と市民の家計を支援するため、市内の店舗等で利用できるプレミアム付商品券（1万円分）1万3千円分の商品券・1世帯3冊まで購入可能）を発行します。	市内全世帯	・発行冊数：61,000冊 ・取扱店舗数：307店舗（大型店20、中小店287） ・販売冊数：49,463冊（81.1%） ・商品券利用率：99.7%	168,555	147,000	R2.9	R3.3	1万3千円分の商品券を1万円分発行し消費喚起を促したことにより、641,173千円の経済効果があり、市内経済の活性化が図られました。	22

■「新しい生活様式」対応事業

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
1	とわだ産品販売支援事業	とわだ産品の魅力を地域内外にPRし、販売促進を図るため、商品素材の撮影や、SNSの効果的なページ管理運営の展開等によりWEBサービスでの発信力を強化します。	市が実施（農家、飲食店、加工業者等）	【商品撮影】 ・撮影枚数：350枚 ・撮影商品数：127点 【SNS運営管理、広告配信】 ・SNS投稿数：21件 ・SNS広告配信： R2.12.29～R3.1.4（7日間）、 R3.3.24～3.30（7日間）	2,105	2,000	R2.9	R3.3	撮影した写真は、市及び事業者のWEBやチラシに活用ができるようになりました。 SNSの運営手法のアドバイスを受け、魅力ある記事の投稿・フォロー数等の獲得につながりました。 SNS広告配信により、拡散効果のある閲覧者の獲得につながりました。	21

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
2	光ファイバー整備支援事業	テレワークやオンライン学習等の「新しい生活様式」に必要な高度無線環境の実現のため、民間が実施する光ファイバー整備を支援します。	民間事業者	整備方式：民設民営方式 （民間事業者が整備・運営を行う） ・協定締結：令和2年10月21日 ・総事業費（見込）：294,655千円 市負担分：70,222千円 ・整備地区： 四和、焼山地区の全域 三本木、切田、藤島、大深内、 法奥、沢田地区の未整備区域 ※深持地区は、民間事業者が独自 に整備	-	70,222	R2.9	R4.3	事業実施中	24 ・ 30
3	ホームページ更新事業	住民の利便性向上や避難時の迅速な情報提供のため、市ホームページをスマートフォン対応のシステムへ更新します。	市が実施	・データ移行作業：R2.12月～R3.2月 ・稼働日：令和3年4月	5,280	5,200	R2.10	R3.3	ホームページの更新により、スマートフォンなどの携帯端末からも閲覧しやすくなりました。また、新型コロナウイルスワクチン接種WEB予約やワクチン接種状況の公開など迅速な情報提供に活用されています。	25
4	学校エアコン整備事業	マスク着用が求められている児童・生徒の熱中症等の体調不良を防止するため、市内小中学校に冷房設備を設置します。	市が実施（市内小中学校）	【エアコン設置工事】 ・小学校（13校）：87教室 ・中学校（8校）：8教室 【移動式エアコン購入】 ・小学校：3校 ・中学校：1校	366,810	343,893	R2.9	R3.8	冷房設備の整備により、子どもの熱中症等の体調不良を防止する環境整備が図られました。	26
5	GIGAスクール端末整備事業	GIGAスクール構想の実現のため、児童・生徒用1人1台教育用コンピュータの端末を導入します。	市が実施（市内小中学校）	【タブレット端末】 ・小学校：2,951台 ・中学校：1,299台 ※総事業費：234,685千円 うち単独分：40,682千円	40,682	40,000	R2.7	R3.3	児童生徒と指導者の端末が整備され、GIGAスクール構想の実現に向けた環境が整ったことにより、教育のICT化が図られたほか、臨時休校等の子どもの学習の機会が保障されました。	27
6	オンライン学習環境整備事業	密集を避けるための分散授業やオンライン授業等の学習環境を提供するため、電子黒板機能付プロジェクター・実物投影機、WEBカメラ・マイクを配備します。	市が実施（市内小中学校）	【電子黒板機能付プロジェクター】 普通教室に各1セット ・小学校：24,816千円 ・中学校：7,755千円 【WEBカメラ・マイク】 学年に各1セット ・小学校：964千円 ・中学校：358千円	33,893	33,338	R2.10	R3.3	電子黒板機能付プロジェクターやWEBカメラ・マイクの導入により、分散授業やオンライン授業等に対応できる学習環境及びICT環境の充実が図られました。	28 ・ 31

■子育て・学生支援事業

No	事業名	概要・目的	対象	実施状況（実績）	決算額	交付金 充当額	事業 始期	事業 終期	評価・分析	実施 計画 No.
1	ひとり親家庭支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているひとり親世帯の生活を支援するため、児童扶養手当又はひとり親家庭等医療費助成を受給する世帯に対し、児童1人につき2万円の給付金を支給します。	児童扶養手当またはひとり親家庭等医療費受給世帯	・支給件数：859件 ・支給対象児童数：1,256人 ・給付金額： 1,256人×2万円=25,120千円	25,200	25,200	R2.6	R2.7	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てに係る負担の増加、収入の減少等が懸念されたひとり親世帯の生活の支援が図られました。	1
2	修学支援給付金事業	学生の修学環境を支援するため、給付金を給付します。	十和田市奨学金制度を利用している高校生・大学生等	【高校生等】 ・給付人数：3人 ・給付金額：540千円 【大学生】 ・給付人数：25人 ・給付金額：16,320千円	16,860	16,560	R2.6	R2.8	生徒・学生の修学資金の確保並びに将来の奨学金償還に係る経済的負担の軽減が図られました。	3
3	新生児子育て支援給付金事業	子育てをする家庭への生活支援のため、特別定額給付金の給付対象外となった新生児に対し、1人につき10万円の給付金を支給します。	令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児 ※令和3年4月1日生まれの新生児については令和3年度予算で対応	・給付者数：284人 ・給付金額： 284人×100千円=28,400千円	28,798	26,300	R2.9	R3.3	新型コロナウイルス感染症の影響下で、より配慮を要する妊娠期を過ぎた子育て世帯の経済的負担の軽減並びに育児に要する費用の支援が図られました。	19
4	北里大学生生活支援事業	家計の急変やアルバイト収入の減により、就学の継続が危ぶまれる北里大学生を支援するため、4、5月分の家賃の一部を助成します。	市内賃貸住宅在住の北里大学生	補助率1/2（上限2万5千円） ・補助件数：1,270件 ・補助金額：52,160千円	52,343	52,000	R2.7	R2.12	大学と連携した申請手続きにより、迅速に家賃の一部を補助することで、北里大学生の経済的負担の軽減が図られました。	20
5	市出身大学生等生活支援給付金事業	移動の自粛やアルバイト収入の減により、修学及び生活に影響を受けている市出身大学生等を支援するため、学生1人につき10万円の支援金を給付する。	保護者が市内に在住し、市内の小・中・高のいずれかを卒業している学生	・大学生：912人 ・大学院生：28人 ・短期大学生：55人 ・高等専門学校生：21人 ・専修学校生（専門課程）：166人 ・各種学校生：33人 ・予備校生（大学進学課程）：3人 ・給付金額： 1,218人×100千円=121,800千円	122,421	121,500	R2.7	R2.10	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生等の経済的負担の軽減が図られました。	23